平成30年度

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒 ・児童を守り育てよ うとする取り組みを支援するこ 共に支えあう地域社会づくりを推 とを目的に「地域福祉学習事業」を支援しています。 共同募金の配分を受けて実施しました。)

▲疑似体験

お年寄りの目線に立って考えること ができた。

▲嚥下食体験

神戸小学校

目的

童を育成する。 思いやる心をもち、進んで行動する児 幅広い体験や活動を通じて、

○高齢者、障がいのある方々の疑似体験 (5年生 総合的な学習)

疑似体験用備品を活用してお年寄り 見を新聞にまとめた。体験を通して、 に手足が動かせない…耳が聞こえに の方々にご指導いただき、お年寄り の介護施設に勤務されている介護士 自分には何ができるのかを考え、意 で実感することができた。そして、 てどのような気持ちになるかを自分 にどのような変化があり、それによっ くい…体験を通して、年をとると体 体験を行った。体が重くて思うよう の方の疑似体験を行った。神戸町内

年をとると飲み込む力が弱くなり、 判断していることが多く、目が不自 をつけたりするとよいことを体験し そのため、細かく砕いたり、とろみ 固い物を飲み込みにくくなったり、 た。ゆっくりで聞き取りやすい声か 由になると、不安が増すことがわかっ 食事をとる際には視覚的な情報から 目が不自由な方の気持ちを考えた。 ながら学んだ。さらに、目隠しをし、 くくなったりすることを教わった。 逆に液体の飲み物をごくごく飲みに



・「もちのき園」の訪問やケアマネー

施設訪問

ジャーの方による講話、老人介護施

設の方との交流により、

福祉の仕事

や活動に関心をもった。

▲疑似体験

調べて分かったことを資料や福祉新 聞にまとめ、)福祉新聞・手紙の作成 家族や地域の方に伝え

校区祭をはじめ、福祉活動に携わつ ていただいた方々に、お礼の手紙を んだことを伝え、広めた。 書くことで、自分で感じたことや学

成果

似体験用備品を活用して、障がいの らお話をうかがうことで見識を深め の方々、「もちのき園」の園長先生か ができることを考えることができた。 が抱える困難さを実感し、自分たち た。障がいのある方や高齢者の体験 ある方や高齢者の方の擬似体験をし え、課題意識をもって活動することが 通して、福祉の心とは何か、 た。これらの体験学習や講話などを また、ケアマネージャーの方、介護士 を通して、障がいのある方やお年寄り 分たちにはどんなことができるかを考 総合的な学習の時間を活用し、 また自

心して食事をとることができるとわ けをすることで、不安が軽減し、

目的

祉活動に参加しようとする態度を育 動を通して福祉の心を養い、進んで福 様々な人とのふれあいや体験的な活

内 容

(総合的な学習の時間) さと思いやりの心を育て、実践意欲 して、相手の立場に立つことの大切 自分と立場が違う人のことを理解

①認知症について講話を聞く

役場の方から「オレンジプラン」とし 認知症についての講話を聞く。

②高齢者、障がいのある方々の疑似体験

- 肘と膝におもりを付け、階段の昇降 く、介助する側の大変さも理解した。 される側を体験した。体の不自由な 方、障がいのある方の苦労だけでな た歩行をし、仲間と共に介助する側 や、アイマスクを身に付け白杖を使つ
- イヤーディフェンダーを付けて、聞 とが大切であることを学んだ。 そばにいたら、静かな環境を作るこ こえづらさを体感した。難聴の方が
- 点字機を使った点字体験、手話体験
- などの体験をした。 ユニバーサルデザインの文具や食器

・職員の方に事前にデイサービスセン

ターの概要、利用者の方と接する際

(2) デイサービスセンター訪問



▲車いす体験

③訪問活動

(1) 幼児園訪問

- 下宮幼児園の園児と交流をした。園 ことができるよう交流の仕方を考え 児が安心してゲームなどに参加する
- 大型絵本などを使って園児に分かりや すく読み聞かせをすることができた。



▲読み聞かせ

幼児園、デイサービスセンターの訪 できた。 分たちにできることを考えることが ち、より正しい知識を身に付け、自 問を通して、福祉について興味をも

高齢者や障がいのある方の疑似体験 態度を育てることができた。 ことを考えて実践していこうという を通して、相手の立場に立つことの 大切さを知り、実生活の中でできる

する。 利用者の方との交流や施設の見学を の心構えや注意点を聞く。



(3)学んだことをまとめる

- 福祉について学習したことをふり返 り、テーマごとにさらに調べるなど して、模造紙にまとめた。
- 保護者に向けて、学んだことを発表

南平野小学校

目的

教育の充実を図る。 福祉活動を積極的に推進し、

)美化活動

・運動場や校内の清掃活動を行った。

○心の教育推進活動

- 年間を通して、植物や生き物の世話 る指導を行う。 を行い、生命の大切さについて考え
- ・地域のボランティアを招いて、ヘチ マ作りの指導を受け、たわし作りを 4年生で行った。



▲ヘチマ講座

JAや農家の方の指導で、米作りを 5年生で行い、収穫、炊飯を行った。 薬剤師から薬物の恐ろしさと誘惑に ハリヨの生態について学習するためる 負けない心の大切さについて、6年 年生が加賀野池で校外学習を行った。

生で「薬物乱用防止教室」を行った。

全校で大根を栽培し、「だいコンテ 喜びを感じた。 スト」を開催することで、収穫への





▲手話講座

子育て支援センター訪問や認知症講 座を6年生で行った。

校区祭(いずみ祭)を「お弁当の日」と 生で「いのちの授業」を実施した。

して、家族でお弁当を作り、学校で

を全校で行った。 貧困や紛争、東日本大震災の学習 「地球のステージ」を開催し、世界の

地域の達人から学ぶ(クラブ)(文化

校区祭で、環境について学び、

木の

クラブ、アートクラブ)

おもちゃ作りを体験する。

)伝統文化・達人の技の継承

一緒に食べる。

耳に障がいをもつ方やお年寄りの方 との関わり方についての学習を通し て、福祉活動に関する理解を深める

○環境委員会の活動

一円玉募金や校内バラ園の水やり

ことができた。

○キャリア教育

横河住金ブリッジの協力による、高

速道路建設現場の見学と橋造りにか

の貧困や紛争、東日本大震災などに きていくことが大切であることを理 互いに支え合い、助け合いながら生 ついて学習することにより、人間は 「地球のステージ」を開催し、世界

する気持ちをもつことができた。 地域の方々とのふれあいを深めると ともに、地域を知り、地域を大切に

○総合的な学習の時間などによる福祉学習

福祉に関する図書の購入

○学校図書館における福祉学習の環

ける「夢づくり講座」の開催。

手話サークルによる手話講座やデイ サービス訪問などを5年生が行った。 北 f

校

的

高齢者や障がい者とのふれあいを中 思いやる心を育てる。 的に工夫し実践することで、他への 心とした福祉学習を意図的・計画

学校、保護者、地域との連携がより 強化され、地域全体で支え合う温か い絆づくりを推進する。

○高齢者や障がいのある方とのふれ 的な学習の時間」等) あい活動や手話学習の実施(「総合

特別養護老人ホーム[りんどう]の訪 問(高齢者との交流)



▲高齢者との交流

○感謝の会

縄跳び等

ゆ~ゆ~班によるふれあい活動(大

○授業(クラブ・総合的な学習の時間

等)での地域や保護者の方とのふれ

あい活動

野菜や米作り、みかん作り〈講師〉 クラブやおはなしひろば〈講師〉

人権学習(ひびきあいの学習)

高齢者や障がい者の生活疑似体験活動

総合的な学習の時間で学んだことを 発表(学習発表会)

音楽療法や和太鼓の活動(講師)(な

町探検での交流(3年生)

(2・3・5年生)

○祖父母参観・ふれあい教室など学 校行事等でのふれあい活動

登下校時における見守り隊の方との 祖父母や公民館関係の講師との交流

○異年齢集団による交流

交流(感謝の会)

・1年生と北幼児園の交流(伝承遊び・ 学校探検他)

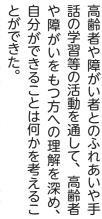


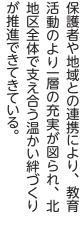
▲北幼児園との交流

して活動に取り組める姿が見られて

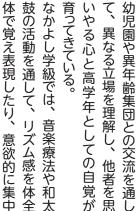
の交流を継続することで福祉への 後に「もちのき園」に寄贈した。こ 水やりをして育て、式場を飾った

意識を高めた。





幼児園や異年齢集団との交流を通し 育ってきている。 て、異なる立場を理解し、他者を思 いやる心と高学年としての自覚が



3

卒業式に飾る鉢花を、各学級で



▲和太鼓の活動

目的

神戸中学校

4.

生徒会副会長を中心に、町社会福 やる心を育てる。 祉施設との交流を行い、他者を思い

もてるようにする。 謝の心、地域の一員としての自覚が ティア活動への参加等を通して、感 地域の清掃、行事への参加、ボラン

農作物や植物を育て、それを役立て ることを通して、生命を大切にする 心をを育てる。

もちのき園との交流 居住地交流

2

鉢花の購入

農園管理、紙すき

成果

1.

特別支援学級の生徒が居住地交 に校内の畑でさまざまな作物を 流の生徒と調理実習を行うため いてリースづくりを行った。 た生徒と交流を行い、講師を招 「もちのき園」で生徒会が募集し

2



▲校内の畑に様々な作物を育てた



▲居住地交流の生徒との調理実習



もちのき園との交流

て渡した。 付するときにもメッセージを書い た。そのカードを販売した。また 行い、メッセージカードを作成し 生活単元で作成したおもちゃを寄